



まきの木

羽島市市立堀津小学校
令和7年1月24日
2月号



学校の教育目標『心豊かに伝え合い たくましくやりぬく子』

2025年もよろしくお祈いします

今年、「巳年」です。「蛇」は、脱皮を繰り返して成長していく生き物ですから、「復活と再生」を表す年だそうです。だから、「新しい自分に生まれ変わる」とか「幸せな未来をつかむ」という意味をもっているそうです。

ぜひとも、今年は今までできなかったことに再挑戦したり新しい自分に生まれ変わった気持ちで頑張ったりできるとよいです。例えば、できなかった二十跳びにもう一度挑戦したり、すぐにあきらめてしまう自分から生まれ変わって最後まで頑張ろうと心掛けたりと、そんな1年になるとよいですね。

後期後半も、笑顔いっぱいかがやきいっぱいの堀津小にするために、後期の始業式に話した3つのことを忘れないように話しました。

- ① 自分の中の一等賞を目指す
- ② 小さな社会人としてお手本になる
- ③ 相手が笑顔になる言葉をたくさん伝え合う

3つ目の「伝え合う」では、相手が笑顔になる言葉をたくさん伝え合ってほしいと話しました。言葉には魔力があり、どんな言葉を口にするかで、あなたの目の前の状況は変わってくるし、あなたの心も変化していきます。例えば、「ばか」「くそ」「そんなこともできんのか」などの汚い言葉やマイナスの言葉を使っていると運やつきが逃げてどんどん心が貧しくなります。反対に、「にこっ」と笑って「ありがとう」「助かるよ」「がんばれ」などのプラスの言葉を使えば、自分の心も相手の心も心地よく、必ず良い方向に動いていきます。後期後半は、相手が笑顔になれる言葉を意識して使うようにしてほしいと思います。今年もよろしくお祈いいたします。



楽しかった餅つき会

1月10日には、学校運営協議会や老人会、JAの方のお力をお借りして、餅つき会を行いました。5年生が中心となり、6月に田植え、11月には手刈りによる収穫を行ったもち米で餅つきをしました。「よいしょ、よいしょ」という掛け声のもと、順番に杵を持ちつかせていただきました。「はじめてやったけれど、とても楽しかった」と感想を話してくれる子もありました。全校児童できなこ餅やあんこ餅にして食べました。

たくさんの方の思いで実現しました。



子供たちに楽しい思い出をつくっていただき、ありがとうございました。

今年の節分は、2月2日

2025年の節分は、2月2日だそうです。これは1年が365日より少し長いせいなのですが、大変珍しいことです。節分とは、季節の節目である「立春」「立夏」「立冬」「立秋」の前日のことを言い、年に4回あります。

春の「節分」がクローズアップされるのは、年の変わり目には、特に邪気が入りやすいからだそうです。「家の玄関先に焼いたイワシの頭を柵に刺したものを飾って、鬼が容易に入ってこられないようにする、邪気は豆に宿ると言われているので、豆を煎ることで『魔の目を射る』ことに通じ、豆まきをして鬼を追い払う」などの習わしは、古くは平安時代から始まったと言われています。それが、今でも脈々と受け継がれているとは、日本人って実に伝統を重んじる素晴らしい民族だと思いませんか。